



# はとつうしん

No.81 2023. 7. 1 (創刊 1989年7月)

○発行／日高市民生委員・児童委員協議会／日高市大字南平沢1020番地 日高市役所生活福祉課

## 高麗神社 祭祀舞

写真提供 高麗地区 吉田 明正



## 3年間の出発にあたって

魅力ある活動を



日高市民生委員・児童委員協議会  
会長 前嶋 謙一郎

日高市民生委員・児童委員協議会の会長を、6年もの長い間務めていただいた北田会長から、昨年12月、会長の職を引き継ぎました。これからはより魅力的な協議会にすべく、運営・活動に力を注いで行く所存であります。

この3年間で振り返ってみますと、コロナ禍の関係で、民生委員・児童委員の活動も、充分に行うことが出来ませんでした。しかしこれからは通常の対応が出来るようになってくれるのではないかと感じています。

多様化する生活環境の中で、地域を最もよく把握している民生委員・児童委員の活動は今後、高齢化社会に向かつていく世の中に対して、非常に重要な位置づけのボランティア活動になると認識しております。

最近の民生委員・児童委員の状況は、大変に厳しいもので、退任された委員から新たな委員への引き継ぎも充分に出来ず、欠員数が増加しております。そのため、今後充分な活動が出来るか危惧しております。このような状況を変えていくためには、民生委員・児童委員の仕事が地域福祉にとっていかに大切なものであるかを住民の方々に理解していただき、自らも魅力ある活動をするこ

とが、重要であると感じています。

民生委員・児童委員の横のつながり、そして委員同士の絆を大切にしながら、民生委員・児童委員をやってよかったと思えるような協議会の運営を行い、委員の皆様が2期3期と継続していただけるようにしていきたいと思っております。

# 就任にあたって



健康推進部  
部長 梶山 吉之

4月の人事異動により健康推進部長に就任いたしました。民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日頃から地域の身近な相談役として、ご活躍いただいておりますことを感謝申し上げます。

少子高齢化、人口減少など、社会構造が大きく変化する中、人々が可能な限り住み慣れた地域で、自立した日常生活を営むことができる社会の実現が求められております。

本年度、市では健康で生き生きと幸せに暮らすことができる「健康のまちづくり」を重点施策とし、各施策に取り組んで参ります。社会、経済に大きな影響を及ぼしたコロナ禍ですが、日常を取り戻す重要な転換期を迎えております。

民生委員・児童委員の皆さまのご支援をお願い申し上げます。



生活福祉課  
課長 堀口 喜由

4月の人事異動により生活福祉課長に就任いたしました。民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日ごろから、地域の身近な相談役として、また、市民と行政のパイプ役としてご活躍いただき、心より感謝申し上げます。

ここ数年間は新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々な活動が制限されておりましたが、今年に入ってからはその少しずつ緩和され、以前のような生活や活気が戻りつつあります。

一刻も早く新型コロナウイルス感染症が収束することを願うとともに、地域福祉のために、民生委員・児童委員の皆様と連携した活動に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



子育て応援課  
課長 大野 雅司

4月の人事異動により子育て応援課長に就任いたしました。民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日頃より地域の子どもたちを温かく見守りいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

市では、だれ一人取り残されることなく、保護者の皆様安心して子育てでき、子どもたちがのびのびと育つよう、全力で取り組んでおります。

これからも未来ある子どもたちのため、魅力ある子育て環境づくりを進めてまいりますので、

民生委員・児童委員の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



## あんなこと こんなこと



高萩地区  
石井 泉

私が民生委員・児童委員を引き受けたのは、会社員生活を約半年後に終える前年の12月でした。それまでは地域活動への参加も少なく、自分の地域にどの様な方々がお住まいなのか全くと言って良い程知りませんでした。

活動当初は、自分に務まるか不安でした。更に新型コロナウイルスが猛威を振るい出し、活動が大幅に制限される中でも、地道に活動しなければなりません。ある日近所の方から複雑な相談を受けましたが、早期に市の関連機関に「つながり」ことが出来ました。委員は個人で全てを解決するのではなく、関係先に「つながり」ことの大切さを痛感した出来事でした。

「はとつうしん」は、前号から表紙がカラーとなり、より見易くなっています。市のHPにも掲載され、多くの方々にお読み頂く機会を得ました。これをお読みになり、民生委員・児童委員活動に興味をお持ちになられた方、私達と一緒に、地域福祉活動に取り組みませんか！

# 地区民見協 会長に就任して



高麗地区民見協  
会長 横手 幸江

この度の一斉改選に伴い、今期より高麗地区民生委員・児童委員協議会会長に就任しました。前任の北田会長にあっては、長い間高麗地区並びに市会長を務められ、昨年度は埼玉県民生委員・児童委員協議会より優良民見協表彰を受けるなど、当協議会の運営にあたられ、感謝申し上げます。私もおんぶにだっこ状態でしたので、会長という重責がこんな私で務まるのかと、不安な状況で改選を迎えました。日高市でも年々高齢化率が高くなっており、高麗地区でも例外ではなく、訪問活動をしていると年々感じ取ることができません。

そんなコロナ禍の状況も少しずつ変化がみえてきており、本来の民生委員・児童委員活動が行える兆しがみえてきました。以前のように高齢者の方や子供達を見守り、委員同士の協力体制を保ちながら、高麗地区民生委員・児童委員協議会を皆さんと一緒により良い協議会として活動していきたいと思っております。活動は自分自身の健康で成り立ちます。市民の方と関係機関の良きパイプ役として元気に明るく、健康で過ごしてまいります。また、地域住民の方々の信頼関係を築くためにも、各自治会等での福祉活動にも積極的に参加、協力していただきましたと思います。

最後に当地区委員の皆様、また高麗川・高萩両地区会長並びに委員の皆様のご協力のもと、会長職を務めてまいり所存です。よろしくお願い申し上げます。



高萩地区民見協  
会長 杉山 博行

コロナもやっと5類になり、はてさて今後どう推移していくだろうか？ 高齢のわが身としては先行き心配事の一つである。そんなこんなで民見協の活動もままならないまま、3年間が過ぎてしまいました。そして昨年12月の一斉改選があり、新しい体制がスタートし、既に6ヶ月が過ぎました。久しぶりに全員集合しての総会も済み、新しく委嘱された委員さん達も、「さあ、何をどのようにやるの？」「何か起きたらどのようなにしたら？」と不安を持っているのが正直な気持ちだと思えます。私が初めて委嘱されて委員になった時を思い浮かべれば、まさしく同じ気持ちで臨んだと記憶しています。

地区の会長を今回も引き受けたいからには、新しくなった方が不安に思っていること、「何をどうしていけばいいのか？」といった事を正面から受け止めて、活動の在り方を継承していく事ができればいいなと思っております。振り返って、右も左もわからず闇雲に文句を言い、時にはふてくされてそっぽを向いて抵抗したなりたての頃が、脳裏に浮かび恥ずかしくなります。でも、そんな自分が今あるのは、温かく見守って育てて下さった先輩が大勢いたからです。このことに感謝です。この気持ちをずっと忘れずに持ち、新しい委員さん達と力を合わせてやっていきます。

# 北田文子氏へのインタビュー

聞き手 広報部 部会長 小林 一夫

小林 本日はお忙しいところご足労頂きありがとうございます。長らく会長をなされた北田さんに、民生委員になられたきっかけやご苦勞などをお話いただければと思います。

北田 私は当時仕事をしていたんですが近所の前民生委員の方が、私に民生委員を引き受けてくれなにかとって、毎朝玄関の前で待っているのです。それが1週間くらい続いたので、面倒くさくなって引き受けました。民生委員になってみたら先輩達が定例会の出欠や、服装等に厳しくて、私達は平成7年に入ったので、「ななの会」という名前をつけて、皆で慰め合うために集まっておしゃべり会を始めました。今でも年に1回、「ななの会」という同期会をやっていました。コロナ禍でしばらく休みです。

小林 ありがとうございます。なかなか大変な活動だったようですね。でも、その中でも一番印象に残っていることはありますか。

北田 後悔まではしません。嘘を言ったということで、心苦しいことがあります。担当区に95歳くらいの男の方がいらっちゃって、もう既にお亡くなりになりましたが、その人は認知症が出て、お金をなくした、通帳をなくしたなど



思い出を語る北田前会長

ということをいつも言っていました。ある日、その人の息子さんが、父を施設に入れたと言ってきました。本人は絶対行かないと言っていました。その人はデイサービスには通っていましたので、ケアマネさんから頼まれて、私がデイサービスに行くということ、で連れて行きました。私はご本人に入所するということをお話しないでお連れしてしまったことに対して悪かったなと思っています。でもその後入所先へ行ったら楽しそうにされていたのでホッとしました。

小林 大変だったんですね。嫌な思い出かもしれないですが、ご本人のためにはなったのかな、と思いますね。

北田 そうですね、本人のためにはなつたと思います。

小林 逆に楽しい思い出というものはありますか。

北田 楽しい思い出ねえ。知的障がい者の方とお話をする時、今も元気な方ですが、彼はいろんな面白い話をするんです。「軍隊に入るからいなくなつても捜すな」とか「彼女が欲しい」とか、電話してくるんです。そういう人は相手をしてあげないとダメなんです。そんな時、私は「若い彼女は知らないけど、ばあさん彼女ならいっぱい知っているの、お婆さんでもいい？」って聞くと「アハハッ」と笑って電話を切ります。楽しかったですね。話を聞くのはね。

小林 そうですね。ただ聞いてあげるのが大事なんですよ。

会長となつて苦勞したことはありますか。

北田 地区の会長には、どうしようもなくなくなつたんです。前の会長は全部自分でやっていましたから、定例会のやり方も講習会の講師のお願いの仕方何分からもいんです。それで前々会長にいろいろと聞き、皆さんの協力でやっと

1期が過ぎました。自分で何でもやっていたら、私が病気になる可能性もあるからと思つて、皆さんにも仕事を分配しました。とにかく、私は皆さんの意見を聞くだけやってくれるのは皆さんだということを感じて17年間やりました。

小林 会長になつていろいろ苦勞されたわけですが、会長としてよくできて良かったなということはありますか。

北田 よくできたことではないと思いますが、民児協の県と市との橋渡しは頑張つたつもりです。私一人ではできませんので、近隣市の会長が応援してくれて実現したことがありました。だから民生委員も、連携がすごく必要だと思いますね。

小林 今回、新しく民生委員になつた方もいらっしゃるんですが、新任の方へのアドバイスはありますか。

北田 新任の方は、先輩委員や地区民児協の会長などに聞いて動いた方がいいと思います。相談事でも、返事をする前に誰かの意見を聞いてから、返事をした方がいいと思います。

小林 ありがとうございます。それでは、我々民生委員に期待する事とか、アドバイスとかがありましたらお願いします。

北田 ありがとうございます。それでは、我々民生委員に期待する事とか、アドバイスとかがありましたらお願いします。

小林 ありがとうございます。それでは、我々民生委員に期待する事とか、アドバイスとかがありましたらお願いします。



# 日高市民児協前会長

北田 私達は日高市の市役所と協の看板を背負っている事を忘れないで欲しいです。ひと呼吸おいてから動いた方がいいと思います。小林 何をやるにしてもコミュニケーションが大事ということでしょうか。

北田 そうですね。コミュニケーションが大事ですね。役員さんや先輩の方は、新しい方が相談しやすい雰囲気を作ってあげることが大事だと思います。

小林 ありがとうございます。最後に、会長としての思いがありましたら、お願いします。

北田 私が会長として一番嬉しかったのは、皆さんがニコニコしながら役員会にも定例会にも来て下さったこと、それはすごく嬉しかったですですね。皆が沈んだ顔をして来ると、何でだろうと思って寂しいんですね。それから皆さんがどんどん意見を言って下さるのは大変嬉しかったです。文句でも何でも。まあその通りにはなりませんけど。自分が気づいていないところも言ってもらいたい。会長というのには、やはり聞く耳を持たないといけないと思いますね。相談内容が暗いので、日頃は楽しい活動をして下さい。

小林 お忙しい中、ありがとうございます。これからもお元気で活躍されるよう、頑張ってください。

## 合同定例会開催

2月15日、高麗の郷において令和4年度の合同定例会が開催された。今回は学校教育課の小坂井啓二氏・利根川典正氏を講師に迎え、「小・中一貫教育」「GIGAスクール」についての出前講座を行った。

### 一貫教育

学校区によって形態に多少の違いはあるが、基本的には修業年限9年、前期課程6年、後期課程3年。現在の中学3年生は9年生になるとのことであった。1年生から9年生までの児童・生徒が、行事などを通して異学年交流を行い、縦のつながりを強めたり、学校と家庭・地域がそれぞれ当事者意識をもって様々な支援を行うなど、コミュニケーションを基盤としたものとなることであった。



日高市教育委員会 学校教育課 小坂井 啓二 教育指導幹

既に、本年度から施設一体型方式で、武蔵台小学校の施設を利用し、中学生が武蔵台小学校に通うことで、義務教育学校「武蔵台小中学校」としてスタートしている。来年度以降の開校については、次のようになっている。

施設分離型	施設隣接型	施設一体型
日高市立 高萩北小学校・高萩北中学校	日高市立 高麗小学校・高麗中学校 日高市立 高麗小中学校(令和7年度開校)	日高市立 武蔵台小中学校(令和5年度開校) 日高市立 高根小中学校(令和6年度開校) 日高市立 高麗小中学校(令和7年度開校)

### ☆義務教育学校とは☆

- ①修業年限は9年（前期課程6年、後期課程3年）で、学年の呼び方は1年生から9年生となる。
- ②校長は1人、教頭・養護教諭・事務職員は2人ずつ配置。
- ③教員は小学校と中学校両方の教員免許を併有（当面は併有しなくても可）。

#### 教育的効果

- 小学校から中学校への滑らかな移行を促し、いわゆる「小中ギャップ」と呼ばれる学校不適応の緩和や解消が期待できる。
- 異学年交流が盛んに行われ、上級生は下級生に対する思いやりの心や規範意識を、下級生は上級生に対する憧れの感情を持つことで、精神的な発達や社会性の醸成が期待できる。
- 教員が相互に協力しながら学習指導や生活指導に臨むことが可能となり、教員同士の一体感が高まり、個々の業務負担の軽減が期待できる。

日高市広報「Hidaka」4月号より

### GIGAスクール

「GIGA」とは、児童・生徒一人に一台のコンピュータと高速ネットワークを整備する取り組みのことで、既に一人ひとりにタブレットが渡されている。教科の授業での活用はもちろん、生徒総会では、従来、紙の資料を配布していたが、現在ではタブレットに資料を配信し、ペーパーレス化を図るなど活用されつつあるとのことであった。



日高市教育委員会 学校教育課 利根川 典正 課長

# 令和5年度 日高市民児協定期総会開催



あいさつをする谷ヶ崎市長

平成31年度の定期総会を最後に、3年間書面議決での総会が続きましたが、4月26日、無事全員顔を合わせての総会が開催されました。

当日はあいにくの雨天の中、総合福祉センター高麗の郷に、来賓の谷ヶ崎市長、森崎市議会議長をお迎えし、ご挨拶をいただきました。また、社会福祉協議会会長の大沢氏は、会長に就任して3年、初めての総会でのご挨拶とのことでした。

小久保理事の司会のもと、議長選出、令和4年度事業報告、歳入歳出決算が報告され、監査報告後それぞれ承認されました。次に令和5年度役員、基本方針及び活動目標が前嶋会長より提案され、それぞれが承認されました。



また、本年度事業計画及び歳入歳出予算が提案され、これも満場一致で承認されました。

今年はコロナ禍の規制もゆるみ、今まで中止されていた数々の行事が開催され、新任、再任の委員とも交流できることを楽しみに活動していきたいと思えます。

また、今まで自粛していた社会調査も3年ぶりに復活ということで、担当地区の住民と顔を合わせてお話を聴き、情報を集めて、今後の活動に生かしていきたいと思えます。

高萩地区 佐々木 清子

## 高麗小学校学校応援団でのコマ



とまと はやく  
おおきくなれ

### 新任民生委員・児童委員

令和5年1月1日付

高萩地区 黒野 英弘  
高萩地区 田中 和香子  
(主任児童委員)

令和5年4月1日付

高麗地区 佐藤 壽美  
高萩地区 岡村 誠二

### 退任民生委員・児童委員

令和4年12月31日付

高萩地区 平岡 進

令和5年3月31日

高麗地区 井上 三枝  
(主任児童委員)

令和5年4月30日

高萩地区 北野 信一

## あとがき



ここ数年、話題に上がらないことのなかった新型コロナですが、収束に向かっているのかいないのか、感染者数が増えたり減ったりしています。1日も早く収束することを願ってやみません。

昨年12月、民児協の会長を始め、4月からは各部会のメンバーも代わり、新しい体制でスタートしました。広報部会も新しいメンバーを迎え、新たな気持ちで編集に取り組みました。少しでも新鮮さを感じていただければ幸いです。「はとつしん」は、前号から一部カラーになりましたが、いかがでしょうか。これからも、色鮮やかな写真に負けないような内容の広報紙を作っていきたいと思えます。

小林 一夫